



P コマンド

この章では、P で始まる Cisco Nexus 1010 コマンドについて説明します。

packet vlan

Virtual Supervisor Module (VSM) ドメイン パケット VLAN の VLAN ID を変更するには、**packet vlan** コマンドを使用します。

packet vlan *vlanid*

シンタックスの説明

<i>vlanid</i>	VSM ドメイン パケット VLAN を識別する番号を指定します。指定できる範囲は 1 ~ 3967 および 4048 ~ 4093 です。
---------------	--

デフォルト

なし

コマンド モード

SVS ドメイン コンフィギュレーション (config-svs-domain)

サポートされるユーザの役割

network-admin

コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、VSM ドメイン パケット VLAN の VLAN ID を 1117 に変更する例を示します。

```
n1000v# config t
n1000v(config)# svl-domain
switch(config-svl-domain)# packet vlan 1117
```

関連コマンド

コマンド	説明
login virtual-service-blade	変更する VSM の Cisco Nexus 1000V CLI にログインします。
show svcs-domain	VSM のドメイン コンフィギュレーションを表示します。
control vlan	VSM ドメイン コントロール VLAN の VLAN ID を変更します。

password strength-check

パスワードの強度の確認をイネーブルにするには、**password strength-check** コマンドを使用します。パスワードの強度の確認をディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

password strength-check

no password strength-check

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト この機能は、デフォルトでイネーブルになっています。

コマンドモード グローバル コンフィギュレーション (config)

サポートされるユーザの役割 network-admin

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

例 次に、パスワードの強度の確認をイネーブルにする例を示します。

```
n1000v# config t
n1000v(config)# password strength-check
n1000v(config)#
```

次に、パスワードの強度の確認をディセーブルにする例を示します。

```
n1000v# config t
n1000v(config)# no password strength-check
n1000v(config)#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show password strength-check	パスワードの強度の確認の設定を表示します。
	username	ユーザ アカウントを作成します。
	role name	ユーザ ロールに名前をつけて、そのロールのロール コンフィギュレーション モードに切り替えます。

ping

IPv4 アドレッシングを使用する別のデバイスへのネットワーク接続性を調べるには、**ping** コマンドを使用します。

```
ping [dest-ipv4-address | hostname | multicast multicast-group-address interface [ethernet slot/port | loopback number | mgmt0 | port-channel channel-number | vethernet number]] [count {number | unlimited}] [df-bit] [interval seconds] [packet-size bytes] [source src-ipv4-address] [timeout seconds] [vrf vrf-name]
```

シンタックスの説明

<i>dest-ipv4-address</i>	宛先デバイスの IPv4 アドレスを指定します。形式は、 <i>A.B.C.D</i> です。
<i>hostname</i>	宛先デバイスのホスト名を指定します。ホスト名では、大文字と小文字が区別されます。
multicast	(任意) マルチキャスト ping を指定します。
<i>multicast-group-address</i>	マルチキャスト グループ アドレスを指定します。形式は、 <i>A.B.C.D</i> です。
interface	マルチキャスト パケットを送信するインターフェイスを指定します。
<i>ethernet slot/port</i>	(任意) イーサネット インターフェイスのスロットとポート番号を指定します。
<i>loopback number</i>	(任意) 仮想インターフェイス番号を 0 ~ 1023 の範囲内で指定します。
mgmt0	(任意) 管理インターフェイスを指定します。
port-channel channel-number	(任意) ポートチャネル インターフェイスを 1 ~ 4096 の範囲内で指定します。
<i>vethernet number</i>	(任意) 仮想イーサネット インターフェイスを 1 ~ 1048575 の範囲内で指定します。
count	(任意) 送信の回数を指定します。
<i>number</i>	ping の数を指定します。指定できる範囲は 1 ~ 655350 です。デフォルトは 5 分です。
unlimited	無制限の回数の ping を許可します。
df-bit	(任意) IPv4 ヘッダーの Do-Not-Fragment ビットをイネーブルにします。デフォルトはディセーブルです。
<i>interval seconds</i>	(任意) 送信の間隔を秒数で指定します。指定できる範囲は 0 ~ 60 です。デフォルトは 1 秒です。
<i>packet-size bytes</i>	(任意) 送信するパケット サイズをバイト数で指定します。指定できる範囲は 1 ~ 65468 です。デフォルトは 56 バイトです。
source src-ipv4-address	(任意) 使用する送信元 IPv4 アドレスを指定します。形式は、 <i>A.B.C.D</i> です。デフォルトは、デバイスの管理インターフェイスの IPv4 アドレスです。
timeout seconds	(任意) 無応答タイムアウトの間隔を秒数で指定します。指定できる範囲は 1 ~ 60 です。デフォルト値は 2 秒です。
vrf vrf-name	(任意) Virtual Routing and Forwarding (VRF; 仮想ルーティング/転送) 名を指定します。デフォルトではデフォルト VRF です。

デフォルト

デフォルト値については、このコマンドの「シンタックスの説明」を参照してください。

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザの役割 network-admin

コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、IPv4 アドレッシングを使用する別のデバイスへの接続性を調べる例を示します。

```
switch# ping 172.28.231.246 vrf management
PING 172.28.231.246 (172.28.231.246): 56 data bytes
Request 0 timed out
64 bytes from 172.28.231.246: icmp_seq=1 ttl=63 time=0.799 ms
64 bytes from 172.28.231.246: icmp_seq=2 ttl=63 time=0.597 ms
64 bytes from 172.28.231.246: icmp_seq=3 ttl=63 time=0.711 ms
64 bytes from 172.28.231.246: icmp_seq=4 ttl=63 time=0.67 ms

--- 172.28.231.246 ping statistics ---
5 packets transmitted, 4 packets received, 20.00% packet loss
round-trip min/avg/max = 0.597/0.694/0.799 ms
```

関連コマンド

コマンド	説明
ping6	IPv6 アドレッシングを使用する別のデバイスへの接続性を調べます。

port-profile

ポート プロファイルを作成してポート プロファイル コンフィギュレーション モードを開始するには、**port-profile** コマンドを使用します。ポート プロファイル コンフィギュレーションを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

port-profile *name*

no port-profile *name*

シンタックスの説明

<i>name</i>	ポート プロファイル名を指定します。名前の長さは最大 80 文字です。
-------------	-------------------------------------

デフォルト

なし

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション (config)

サポートされるユーザの役割

network-admin

コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

Cisco Nexus 1000V 上の各ポート プロファイルのポート プロファイル名は一意であることが必要です。

例

次に、AccessProf という名前のポート プロファイルを作成する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# port-profile AccessProf
switch(config-port-prof)
```

次に、AccessProf という名前のポート プロファイルを削除する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# no port-profile AccessProf
switch(config)
```

関連コマンド

コマンド	説明
show port-profile name profile_name	ポート プロファイルに関する情報を表示します。

pwd

現在のディレクトリを表示するには、**pwd** コマンドを使用します。

pwd

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト なし

コマンドモード 任意のコマンドモード

サポートされるユーザの役割 network-admin
network-operator

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

例 次に、現在のディレクトリを表示する例を示します。

```
switch# pwd
bootflash:
switch#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	cd	現在の作業ディレクトリを変更します。
	dir	ディレクトリの内容を表示します。
	rmdir	ディレクトリを削除します。

